

目次

第1章 雲仙普賢岳噴火災害の体験と教訓	1
杉本 伸一（島原市 元職員）	
第2章 地域の力が避難を進める	
－防災の裾野を広げたい－	13
山崎 登（国土舘大学防災・救急救助総合研究所 教授）	
第3章 「水害＝逃げる文化」の再生	
－境町の課題と広域避難への取り組み－	23
高桑 大助（茨城県境町 危機管理監）	
第4章 避難訓練を考え直す	35
矢守 克也（京都大学防災研究所 教授）	
第5章 避難行動の実態と取り組み：消防団と地域協力	45
落合 知帆（京都大学地球環境学堂 准教授）	
第6章 災害と高齢者医療	
－何を学び、次にどう活かすのか－	55
飯島 勝矢（東京大学高齢社会総合研究機構 教授）	
第7章 顔の見える関係が促す避難行動・安心感の構築	63
竹内 裕希子（熊本大学大学院先端科学研究部 准教授）	
第8章 津波からの避難と移動手段の問題・自転車の可能性を考える	73
村上 ひとみ（山口大学大学院創成科学研究科感性デザイン分野 准教授）	
第9章 避難行動に影響を与える諸要因	
－「逃げ遅れ」のきっかけ－	81
野上 達也（（一財）日本防火・危機管理促進協会 主任研究員）	
熊田 知晃（（一財）日本防火・危機管理促進協会 研究員）	